

分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築		
市町村名	大鹿村	ふりがな 箇所名	あかいだけこうえんせん (一)赤石岳公園線		まちど わき	沢戸～上蔵	事業年度 (完了年度は見込み)	H24年度～	H27年度
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路拡幅工 L=400m W=5.5(7.0)m					H23年度末事業進捗率	0%	
	H24年度以降残実施内容	同上					本工事費等ベース	0%	
	H24年度実施内容	道路拡幅工 L=170m					用地補償費ベース	0%	
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残			
財源内訳	事業費計(千円)	70,000	0	0	10,000	70,000			
	国庫支出金	0	0	0	0	0			
	その他								
	県債	63,000	0	0	9,000	63,000			
	一般財源	7,000	0	0	1,000	7,000			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点	
	必要性 (30)	計画交通量	4,000台/日以上		1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満	B	0	
		代替道路	唯一の道路である		代替となる道路がある			5	
		ネットワーク (道路網)	バス路線である		B 駅やICなどに通じる または 役場と交通結節 点や支所などを結ぶ路 線	A及びBに該当しない			5
			ボトルネック箇所		ボトルネック箇所でない				4
		観光地に通じる道路		観光地に通じる道路で はない				2	
		各事業特有の必要性(安全の確保)	4.0m未満又は30m未満 又は8%以上(幅員、半 径、勾配)		4.0m以上5.5m未満(幅 員)	5.5m以上(幅員)			6
			自動車と自転車・歩行 者との分離を図る		歩道はあるが不十分で あるものを再整備	自動車と自転車・歩行 者との分離がなされてい ない			0
		他事業との関連	河川改修、新幹線、高 速道などの事業に関連 して実施						0
	小計						22		
	重要性 (10)	設計上の環境・景観配慮	環境・景観配慮がされ 確実性が高い		環境・景観配慮がされて いるが確実性が低い	環境・景観配慮をしてい ない	B	3	
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位 置付けられている		緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪 地域、過疎地域、地震防災対策強化地 域、観光圏整備実施計画認定地域に位 置付けられている	特別な位置づけはない		3	
		小計						6	
	効率性 (20)	費用対効果	B/C(3便益)1.0以上		B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から一 定の効果が得られる)	B/C(3便益)1.0未満	A	5	
		事業効果の早期発現 (H24以降残事業年数)	事業年数 3年以内		事業年数 4年～5年以内	事業年数 6年以上		8	
		コスト削減	全体的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。		部分的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。	コスト削減はしていない		7	
		小計						20	
	緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険 箇所の安全を向上させる		交通事故や落石等の危険箇 所指定はないが安全を向上さ せる	交通事故や落石等の危険が ない	B	6	
		各事業特有の緊急性(医療・福祉)	医療・福祉の連携が発揮 できる道路(ネック箇所の 解消)		医療・福祉の連携が発揮 できる道路(円滑化が図れ る)	医療・福祉の連携に関係 ない道路		6	
		小計						12	
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要 望が強い		市町村からの要望	特に要望がない	B	5	
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知		関係者中心に周知	特に周知していない		5	
住民参加の状況		住民が計画策定に直接 参加		住民や市町村の意見を 計画策定に反映	特に住民意見は反映し ていない	4			
小計						14			
費用対効果(B/C)		3.7		評価の合計		B	74		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当事業区間は集落から役場、商店街、病院等へ通じる唯一の路線であり道路幅員が狭く、すれ違い等に苦慮している。また、近年では大鹿歌舞伎が注目を集め全国より観光客が訪れている。当路線沿いに宿泊施設があり利用する観光客も多く交通量も増加している。							
	地域からの要望経緯	毎年、地元より役場をとおり道路改築要望が提出されている。							
	事業説明等の経緯	大鹿村や地元役員に周知。							
	環境・景観への配慮項目	土羽構造を主とし、緑化を行う。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
特記事項	要望箇所については長い間地元住民が道路整備を願う箇所である。								
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他				
部意見	生活道路としての安全確保を図るとともに、住民の生活環境の向上に寄与する事業であるため、H24年度から事業化をしたい。			政策評価課 意見	ボトルネック箇所解消の必要性は認められる。				